

「福高と野球部の教え」が、「大きな武器」となった!
母校や地元に恩返しをしていきたい!

木下 義和(高28回)

「企業参謀」を務め、「世界トップ100のコンサルタント」と呼ばれております。

福高時代は「野球」に没頭しました。プロで活躍された高8回池田英俊先輩方の第一期黄金時代以来の「福岡市長杯」準優勝を果たし、平和台での県代表対抗戦など、「甲子園の夏県準優勝」に繋がる「第二期黄金時代」の幕開けを担いました。

同期・本多伸介氏や多くの同窓と共に「九州上場企業、115社を555社へ!」を合言葉に、若手経営者の支援も始めております。

ここまで私をご指導頂いた先生、先輩、野球部、スポーツ振興会、福高への恩返しとして「野球部創部95周年」「福中・福高創立100周年」へ向けて、少しでもご恩返しが出来れば、何かお役立ち出来れば・・・と念じております。

高28回、野球部の木下です。東京・丸の内でWBC(株)の代表を務めております。上場コンサルティング会社でトップコンサルとして、自社グループ16社の上場、時価総額5000億円の創出を支援しました。上場含め3社の社長を務めた樂天野球団・GE・トヨタなど440社、33万名様のご支援経験を元に、一昨年、独立しました。

現在、上場5社・上場準備5社、社員数1万名、売り上げ4500億円の5回を迎えた在校生の東京研修見学先OBから提言も

「コンサルティング業界で戦えた武器」は、「福高と野球部で学んだ教え」にあつたと深く感謝しております。

昨年入会した「福高ビジネス研究会」では、同じ窓と強い「縦の繋がり」を持たせて頂き、「人生・ビジネス」を学び合い、大いに刺激を受けておりました。

今年入会した「福高ビジネス研究会」では、同窓生で、福高への恩返しとして「野球部創部95周年」「福中・福高創立100周年」へ向けて、少しでもご恩返しが出来れば、何かお役立ち出来れば・・・と念じております。

仕事先は地方の村が多く、悪路での車酔いを避けるため、300キロを8時間かけて走る夜行列車を使って徹夜で仕事をすることも。さらに、インド人の自己主張の強さと、やはりタイムマネジメントが仕事の苦労を倍加させる。

◆ インドで働く醍醐味
かのようにインドで活躍する同窓生であるが、苦労をする時も皆一様に目を輝かせながら工ネルギッシュに語る。これは、

福高生気質に加え、インド人の気質に心を打たれている部分もあるからだ。筆者は聞きながら思つた。インド人は、礼儀正しく、誠実で、長幼の序をわきまえ、常に明るく、おおらか、というのが筆者の印象であるが、どこか日本人気質と通ずるものがあるようにも感じ

る。

◆ 強い結束を感じ、確信していること
福高の卒業生は、ビジネスに限らずあらゆる分野で活躍している。今回6人でスタートした同窓会であるが、今後インドのさらなる経済成長に合わせるようにインドで活動する日本人も増えていくことと想われる。

福中・福高の同窓生がお

り、同窓会の数も100

人規模になることは決し

て遠くないと感じてい

る。卒業後も福中・福高

の縦横の繋がりの強さ

は、ことあるごとに他校

の卒業生から感心される

ところだが、世界中いろ

いな所で、たとえ困難

な地においても集い、励

ましあい、各人がさらな

る活躍へと進んでいく。

これが、母校の本当に素

晴らしいところだと思

う。今回、初対面で、そ

してわずか数時間で6人

の強い結束を感じたこと

で、そのことをあらためて確信した次第である。

母校1年生の東京研修は昨秋10月26、27日に行われ、例年通り官庁・企業訪問・大学見学を行つた。本研修は平成23年に始まり、今回5回目。そこで、第1回目から企業訪問を受け入れているJX日鉱日石の山田健二さん(高27回)にお話を伺つた。

福高から山田さんに協力要請があったのは、山田さんが同川崎製造所副所長をしていた時。母校の印象を先輩たちは持つており、やりがいを感じると同時に、より高いもの期待している。

研修生たちはしっかりと考へを持っていると感じられており、やりがいを感じると同時に、より高いもの期待している。

福高から山田さんに協力要請があったのは、山田さんは、例年通り官庁・企業訪問・大学見学を行つた。本研修は平成23年に始まり、今回5回目。そこで、第1回目から企業訪問を受け入れているJX日鉱日石の山田健二さん(高27回)にお話を伺つた。

福高から山田さんに協力要請があったのは、山田さんは、例年通り官庁・企業訪問・大学見学を行つた。本研修は平成23年に始まり、今回5回目。そこで、第1回目から企業訪問を受け入れているJX日鉱日石の山田健二さん(高27回)にお話を伺つた。

◆ ダイナミズムを肌で感じた
新興国ならではの

研修生たちはしっかりと考へを持っていると感じられており、やりがいを感じると同時に、より高いもの期待している。

それは学習課程等の関係で難しいことだが、有機化学などについて事前に少しでも予習したうえで見学に来てくれれば、

福高から山田さんに協力要請があったのは、山田さんは、例年通り官庁・企業訪問・大学見学を行つた。本研修は平成23年に始まり、今回5回目。そこで、第1回目から企業訪問を受け入れているJX日鉱日石の山田健二さん(高27回)にお話を伺つた。

福高から山田さんに協力要請があったのは、山田さんは、例年通り官庁・企業訪問・大学見学を行つた。本研修は平成23年に始まり、今回5回目。そこで、第1回目から企業訪問を受け入れているJX日鉱日石の山田健二さん(高27回)にお話を伺つた。

福高から山田さんに協力要請があったのは、山田さんは、例年通り官庁・企業訪問・大学見学を行つた。本研修は平成23年に始まり、今回5回目。そこで、第1回目から企業訪問を受け入れているJX日鉱日石の山田健二さん(高27回)にお話を伺つた。

福高から山田さんに協力要請があったのは、山田さんは、例年通り官庁・企業訪問・大学見学を行つた。本研修は平成23年に始まり、今回5回目。そこで、第1回目から企業訪問を受け入れているJX日鉱日石の山田健二さん(高27回)にお話を伺つた。

◆ 確実を感じ、確信していること
福高の卒業生は、ビジ

ネスに限らずあらゆる分野で活躍している。今回6人でスタートした同

窓会であるが、今後インドのさらなる経済成長に合わせるようにインドで活動する日本人も増えていくことと想われる。



福高ビジネス研究会 第4回講演会 2015年9月30日